

令和8年度 第1回地域クラブ担当者会 意見集約報告書 (7校区版)

対象校区 (7校区)
川西南・川西・明峰・多田
緑台・清和台・東谷

本報告書は、川西市内の中学校区（川西南、川西、明峰、多田、緑台、清和台、東谷の7校区）における地域クラブ活動の現状、成果、および課題を詳しく集約したものです。

1. 運動系クラブの現状

成果：ポジティブな変化と安定



活動環境の劇的な向上 4/7

- ・学校施設の空調設備（エアコン）完備により、夏季でも安全な活動が確保されています。
- ・施設利用料の負担がなくなった（または軽減された）ことで、運営が安定しています。



活動の継続性と競技力の維持 4/7

- ・従来通り中体連の大会に参加できており、学校からテント等の備品貸し出しといった協力も得られています。
- ・外部指導者との連携や他団体との交流、国際交流（海外試合の企画）など、部活動単位では難しかった取り組みが進んでいます。



練習体制の確立 3/7

- ・練習場所が固定され、平日練習の開始や練習時間の増加が実現しました。
- ・公式LINEの活用により、生徒や保護者への連絡がスムーズになっています。

課題：運営の限界と環境の不備



備品・設備の不足と老朽化 4/7

- ・弓具、ハンドボールゴール、テニス用品など、参加者増に対する備品の絶対数が不足しています。
- ・夜間照明の不足や設置位置（低すぎて目に入る）、ライン引きの費用負担などが課題です。



学校行事との連携不足 3/7

- ・個人懇談や短縮授業、給食の有無といった学校情報が共有されず、当日の活動調整に苦慮しています。



指導者・運営スタッフの過重負担 3/7

- ・指導、運営、事務を一人で担うケースがあり、負担が特定の個人に集中しています。
- ・平日指導ができるコーチの確保や、指導者資格の取得費用負担が課題です。

2. 文化系クラブの現状

成果：表現の場の継承と発展



発表機会の創出と確保

- ・定期演奏会、地域イベント（クリスマス点灯式）、外部ミュージカル公演など、成果を披露する場が維持・拡大されています。



部活動形態の円滑な移行

- ・既存の吹奏楽部等の活動をそのまま継承できており、生徒が主体となって下級生を指導する新しい体制も芽生えています。

課題：存続に向けたリソース不足



部員確保と認知度の低さ 3/7

- ・入会者が伸び悩んでおり、特に伝統文化などは習得に時間がかかるため敬遠されやすい傾向があります。
- ・学校内でのポスター掲示や広報機会の不足が指摘されています。



金銭的負担（楽器・消耗品） 2/7

- ・高価な楽器の維持・修理費用、消耗品の確保が大きな負担となっています。



専門的な配慮への不安 1/7

- ・発達障害等を持つ生徒への対応について、以前のように担任や支援担当教諭と連携することが難しく、地域クラブ単独での対応に不安の声があります。

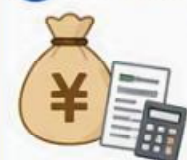
3. 全体を通じた最重要課題と要望 [n/7]

1 情報共有システムの構築 4/7



- ・学校の月間予定（短縮授業、給食有無）を前月初旬までに地域クラブへ共有する仕組みの確立。

2 公的補助の拡充 3/7



- ・遠征時の引率者経費（交通費・宿泊費）
- ・指導者資格の取得費用
- ・備品購入補助の早期実施。

3 運営・審判の負担軽減 2/7



- ・特定の代表者への事務負担の集中。
- ・大会運営における審判派遣窓口の設置要望。

4 広報支援 3/7



- ・学校を通じたポスター掲示やチラシ配布、合同体験会の開催など、認知度向上へのバックアップ。

総括

地域移行により「活動時間の柔軟性」や「専門的な指導」という成果が見られる一方で、「学校との情報格差」と「個人負担（金銭・労力）の増大」が運営の継続性を脅かす深刻なリスクとなっています。今後は、行政・学校・地域クラブの三者が情報を一元管理できる仕組みと、近隣自治体に並ぶ金銭的補助制度の整備が強く求められます。



三者が連携し、持続可能な地域クラブ活動の実現を目指しましょう！